



マイクロナノ MICRONANO

2009
10

CONTENTS

- トピック／1
- 財団法人 マイクロマシンセンター
事業の動き／2
- 技術研究組合BEANS研究所
事業の動き／6
- その他／8

財団法人 マイクロマシンセンター
<http://www.mmc.or.jp/>

技術研究組合BEANS研究所
<http://www.beanspj.org/lab/>

No.69

トピック

マイクロナノ2009 開催報告

総合イベント マイクロナノ2009を、7月29日から31日の3日間、東京ビッグサイト東5ホールにて開催いたしました。30度を越える暑さの中、3日間合計で12,247名のご来場をいただき、成功裏に閉幕することができました。誠に有難うございました。



マイクロナノ2009は、マイクロマシン/MEMS展と国際シンポ等の同時開催プログラムを同期間・同会場で開催することで、来場者や出展者に最先端情報とビジネスチャンスを一ストップで提供することを狙いとしています。

厳しい経済状況を反映して、マイクロマシン/MEMS展は出展者数が昨年より3割減となりました(小間数:320、出展者数:252)。一方でナノインプリントやMEMSファウンドリの出展数増加があり、来場者数も昨年より約1割減に止まるなど、現在の環境下では大健闘したと評価しています。マイクロマシンセンターとしては、これまで最大規模の6小間にブースサイズを拡張し、MemsONEやMEMSモール、ファウンドリのプロモーション、国際標準化などの活動内容を紹介し、また、来場者が目的に合致するブースを効率よく回れるようにコンシェルジュサービスも今回初めて試行しました。

同時開催プログラムは展示会場内の2つの特設会場にて合計8つのプログラムを用意しました。産業化促進のために最先端情報を提供する国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウム(国際シンポ)、MEMS協議会の情報発信の場としてのMEMS協議会

フォーラム、ファインMEMSやBEANSプロジェクトの成果発表会、日独が連携してビジネスチャンスを探る日独マイクロナノ・ビジネスフォーラム、MEMS実装にフォーカスしたMEMS実装・パッケージングフォーラム、出展社プレゼンテーション、MEMS協議会のアフィリエイト大学や研究所が成果を発表する産学連携ワークショップ、です。いずれも多く聴講者を集め、関心の高さを伺わせました。

MEMS協議会国際交流委員会事業の一つであり、今年で第15回となった国際シンポは、研究開発拠点の集約化とMEMSアプリケーションをテーマとして内外から10の講演を集めました。基調講演においては、LETI/MINATECやFraunhofer ENAS、米国のMIGから研究開発拠点の集約化に関する動向を知り、セッション1では、センサーネットワークや光MEMS、エネルギー関連などMEMSアプリケーションの最新動向を紹介しました。セッション2では実現技術としての製造プロセスに着目し、ウエハーベンダー、製造装置ベンダー(接合装置)、材料ベンダーからの講演を集めました。

昨年度までとは異なり、聴講無料、展示会の期間内開催、講演会の場所も別会場から展示会内としました。従来、国際シンポが維持してきたステータスが低下して参加者数が減少するのではとの懸念もありましたが、会場に設置した230の席は満席となり、有料(¥2,000)の講演資料集(MEMS協議会非会員向け)が全配布部数の半数以上を占めるなど、参加者の広がりや関心の高さが伺われました。国際シンポの価値は、形式的な変更には影響されなかったと捉えています。

来年も同時期(7月28日~30日)に開催いたします。同時開催プログラムをさらに充実させ、ロボットMEMSにフォーカスした併設展示会も加えて、最も高い品質の最先端情報とビジネスチャンスを提供する名実ともに世界最大のマイクロ・ナノ技術に関する総合イベントとすべく、準備を進める予定です。